

# 1. プロムナード整備の考え方：パートナーズ管理の適正範囲の検討

## ■ [3つの植栽] でパタンを構成



### 1) パタン1：基調となる植栽 「ラベンダー・グロッソ」

- ・ラベンダーはプロムナードで唯一順調に生育し、現在の環境に馴染んでいる植栽である。
- ・植栽から7年目を迎え剪定を必要としているが、基本的にメンテナンスフリーで手間がかからない。
- ・苗は市場性もあり入手が容易。小さな苗からでも数年で大きな株へ成長するのも魅力。
- ・藤沢市ではラベンダーの小径をボランティア活動として植栽し、環境省『みどり香るまちづくり』を受賞した。(2014年)
- ・パートナーズが年一回剪定作業を行う。(6月にラベンダーのイベント)

### 2) パタン2：手間いらずの常緑地被 「ハイビヤクシン」、「ローズマリー」、「ハツユキカズラ」等々

- ・風に強く、乾燥にも耐える常緑の地被で、ラベンダーの葉色や高さでコントラストを作る。
- ・ハイビヤクシンは、海辺に自生する植栽で耐潮性、耐風性がある。入手も容易。
- ・ハツユキカズラはガーデニングで人気のグランドカバーで、ピンクを帯びた葉色が特徴的。(常緑)
- ・習志野市による管理。

### 3) パタン3：市民花壇 四季の花各種

- ・ボランティアで植栽を行うエリア。通常は、春と秋の年二回手植えを行う。
- ・春の花壇 デイジー(2~5月)、ポピー(3~5月)、キンギョソウ(3~6月)
- ・夏の花壇 ペチュニア(4~10月)、サルビア(6~10月)、ニチニチソウ(5~10月)
- ・秋の花壇 スプレーマム(10~11月)、コスモス(9~11月)
- ・冬の花壇 パンジービオラ(10~5月)、葉牡丹(11~2月)



デイジー



ポピー



キンギョソウ



ペチュニア



サルビア



ニチニチソウ



スプレーマム



コスモス



パンジービオラ



葉牡丹

## 2-1. プロムナード 標準案：植栽エリアを3分割

基調植栽 180m<sup>2</sup>  
ラベンダー・グロッソ  
6月：ラベンダーバンドルづくり

メンテフリー植栽 180m<sup>2</sup>  
ハイバクシン  
賀志野市主体の管理

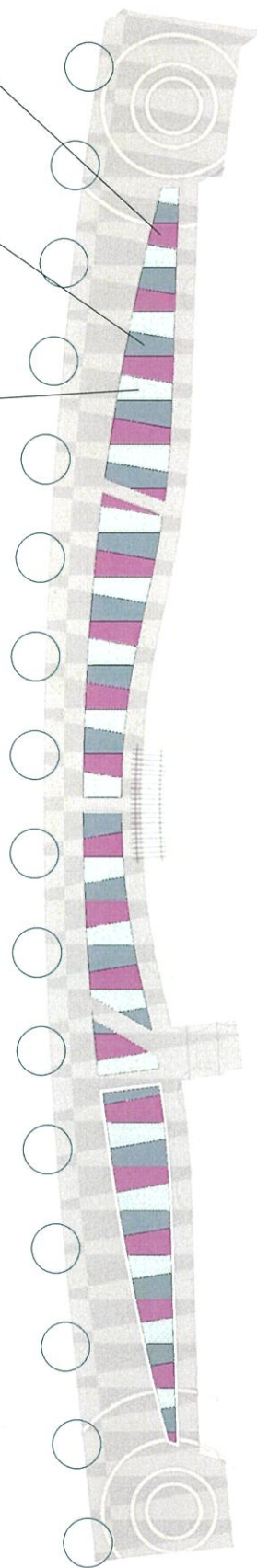
市民花壇 180m<sup>2</sup>  
四季の草花  
4月&10月：地元ボランティア活動



ラベンダーの植栽間隔は1m程度が標準



公益財団法人 藤沢市まちづくり協会による  
ラベンダーの2kmの小径 (神奈川県藤沢市)



東久留米市中央中学校のボランティア (東京都)



高岡おとぎの森公園ボランティア (富山県)



ラベンダーバンドルズのクラフト製作

## 2-2. プロムナード 代替案：市民花壇エリアを縮小した案

基調植栽 180m<sup>2</sup>  
ラベンダー・グロッサ

6月：ラベンダーバンドルづくり

基調植栽 180m<sup>2</sup>  
ラベンダー・濃紫早咲

6月：ラベンダーバンドルづくり

メンテフリー植栽 90m<sup>2</sup>  
ハツユキカズラ

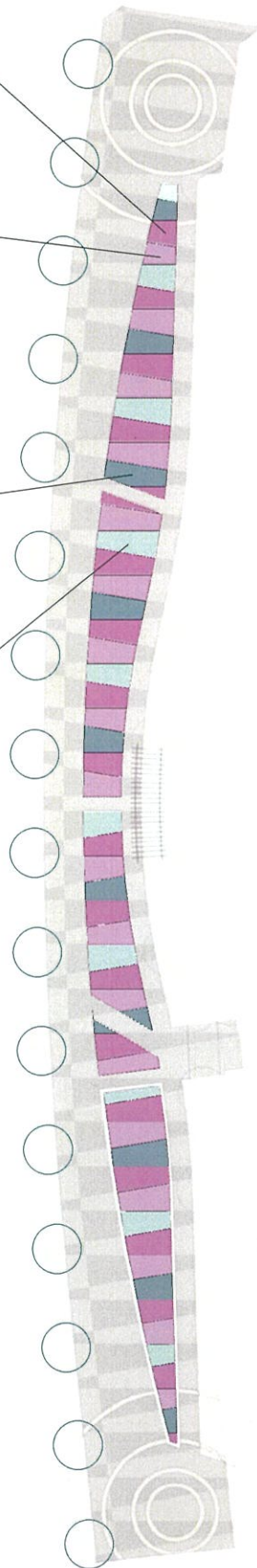
習志野市主体の管理

市民花壇 90m<sup>2</sup>  
四季の草花

4月&10月：地元ボランティア活動



ハツユキカズラ



ラベンダー グロッサ



ラベンダー濃紫早咲



ラベンダー濃紫早咲

北海道で選抜された濃い紫色のラベンダー。蕾の頃から濃紫なので、早くから目を楽ませてください。茎が太くて丈夫なので、リースなどアレンジに向いています。



ラベンダーを蒸留して「精油」を抽出  
千葉県佐倉ラベンダーランドでは、毎年ラベンダー蒸留の体験会を開催している。

### 3. ラベンダーのメンテナンス

#### ラベンダーのメンテナンス

##### 1) 風通しの確保

- ・生育不良の第一の原因は蒸れである。株の風通しを確保する剪定を行う。(10月ごろ)
- ・一つの株から複数の花芽をださせるために、1m程度の植栽間隔をとる。

##### 2) 花芽の剪定

- ・花(花茎)の剪定は必須。最低でも、花だけでも刈り取る。(6月ごろ)
- ・ポイントは花茎の下、新芽ができて始めている少し上で剪定する。



##### 3) 枝の剪定

- ・通風をよくするために枝の剪定も行う。(10月ごろ)
- ・枯れた枝、密集する枝を主に剪定し、整形する。

